

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	図画工作Ⅱ				
担当者氏名	千家 宏子				
授業方法	講義	単位・必選	1・選択必修	開講年次・開講期	1年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 専門基礎-4 発達の深い理解 ◎ 専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

図画工作Ⅰで学んだ基礎知識を活かし、個人の表現方法から、授業づくりの発想や実践力、また、チームで協力して行う活動力を培う。

《テキスト》

・文部科学省『小学校学習指導要領解説 図画工作編』
 日本文教出版 2017.7

《参考図書》

・「明日の小学校教諭を目指して 子どもの資質・能力を育む 図画工作科教育法」萌文書林
 ・大橋功他編著「美術教育概論（改訂版）」日本教出版

《授業の到達目標》

・図画工作Ⅰの発展として、多様な素材や様々な表現方法を活かした造形活動ができる。

その他、適宜紹介する。

・小学校図画工作科における子どもの姿を想定し、今後の学習指導案の作成を踏まえた教材試作ができる。

《授業時間外学習》

・日頃から、造形・色彩分野に興味や関心を持ち関連書籍を読んだり、身近な子どもの造形作品展示や美術館の展覧会を鑑賞する。
 ・毎時間の活動について振り返り、活動記録と考察をレポートにまとめ、次からの課題の取り組みについて準備と工夫を心掛ける。

《成績評価の方法》

- 各課題作品とレポート (60%)
- 通常の授業での学習態度、取組状況 (20%)
- 最終考察レポート (20%)

《備考（教員経験の有無）》

この教科は、幼稚園・小学校・中学校・高等学校の教員経験に基づき構成しています。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	ガイダンス	授業の進め方、実技課題の進め方、次回以降の準備物の指示など。 （ファイルの使い方、作品提出のまとめ方）
2	題材の製作体験 1 （造形遊び／立体）	課題1「新聞紙で大変身！」にグループ活動で取り組む。 ＜活動・作品発表①＞
3	題材の製作体験 2 （造形遊び／平面）	課題2「ドローイング遊び」にグループ活動で取り組む。 ＜活動・作品発表②＞
4	題材の製作体験 3－①	課題3「動きから発想する」に取り組む。 ＜紙を用いた立体作品製作＞
5	題材の製作体験 3－②	課題3の作品を持ち寄り、ICTツール（OHC・プロジェクター）を用いた「動きを楽しむ作品」の発表体験を行う。＜作品発表③＞
6	題材の製作体験 4－①	課題4「絵の具で描く・つくる」に取り組む。製作フィンガーペイントによる色画用紙づくり。＜絵の具を用いた平面作品製作①＞
7	題材の製作体験 4－②	課題4の初回に製作した色画用紙を用いて「分解→再構成」を行う。 ＜絵の具を用いた平面作品製作②＞
8	題材の製作体験 4－③	課題4で製作した作品を持ち寄り、ワークシートや付箋を活用した発表体験を行う。＜作品発表④＞
9	題材研究－①	グループに分かれ、図画工作科の授業を想定した題材を考案する。 ＜素材・画材・道具の調査＞
10	題材研究－②	グループに分かれ、図画工作科の授業を想定した題材を考案する。 ＜対象学年の発達に応じた題材の調査＞
11	題材研究－③	グループに分かれ、図画工作科の授業を想定した題材を考案する。 ＜指導の方法・展開を考慮した材料準備＞
12	題材研究－④	グループに分かれ、図画工作科の授業を想定した題材を考案する。 ＜発表に向けた材料・道具準備＞
13	題材研究の発表 1	グループ毎に題材の製作体験ができる場所を設置し、体験型の発表体験を行う。 ＜作品発表⑤ 造形まつり 1＞
14	題材研究の発表 2	グループ毎に題材の製作体験ができる場所を設置し、体験型の発表体験を行う。 ＜作品発表⑤ 造形まつり 2＞
15	振り返り	最終考察レポート